

熱性けいれん・AED 研修

令和5年12月26日
社会福祉法人 晋栄福祉会
新福島ちどり保育園

12月23日に職員で熱性けいれんについての正しい対応を情報共有し、心肺蘇生の方法やAEDの使用方法について研修を行いました。熱性けいれんが確認されたときは、けいれんが確認されてからの時間を秒単位で確認すること、あおむけではなく、誤嚥防止のため横向きで寝かせること、救急車・保護者への連絡、AEDの用意など迅速な対応や、職員の連携が子どもの命を守ることを改めて認識しました。また乳児（0歳児）、小児（1～5歳児）の人形を使用し心肺蘇生法及び、AEDの使用方法について研修を行い、周りの安全確認、意識・呼吸の有無、救急要請、胸骨圧迫等の役割を職員でローテーションして実際に起きた場合を想定して行いました。乳児と小児で胸骨圧迫の方法が異なることもおさらいし、安全に子どもたちの命を預かるためには、緊急事態に対して慌てず迅速に対応し、救命につながることを念頭に、職員一同研修に取り組みました。



AEDは小児用モードに切り替える！

胸骨圧迫をします！



AEDを持ってきてください！



呼吸の確認をします！

